



福島医大病院ニュースレター

編集・発行/附属病院患者サービス向上委員会

〒960-1295 福島市光が丘1番地 / TEL (024) 547-1111 ホームページ <http://www.fmu.ac.jp/byoin/index.php>

心身医療科部長としての抱負

心身医療科 部長 矢部 博興



平成25年1月1日付けで、附属病院心身医療科の部長を拝命いたしましたので、御挨拶申し上げます。

本年は日本全体の精神医療にとっても特別な年です。実は本年度から厚生労働省の省令改正により、「5疾病・5事業および在宅医療」として精神疾患と在宅医療を加えた国の医療計画が進められることになっております。精神疾患は、皆さまが考えるよりも恐らくずっと多く323万人と、4大疾病(糖尿病、がん、脳卒中、心臓病)の中で最も多い糖尿病の237万人をかなり上回っているのです。当科では、統合失調症、気分障害(うつ病など)、身体表現性障害、摂食障害、パーソナリティ障害、気分障害、認知症、てんかんなど全般に渡る臨床領域を担当しています。さらに他科との連携によるリエゾン精神医療を積極的に行っております。

一方、精神科は「お話をするだけで診断される科」というイメージを持たれがちだと思います。当科では、これを重要課題と捉え、より客観的な知見による医療(EBM)を目指しております。当科は、

精神科唯一の先進医療である光トポグラフィ検査(うつ病の客観的な指標)の開発に加わり、この先進医療の北限の医療機関でもあります。また、積極的に患者さんとそのご家族に精神疾患をより深く知って頂くために、「知ってガッテン相談室」と銘打った最新情報を交えた啓発的な講義を毎月開催しておりますので、どうぞご利用ください。

東日本大震災に際して当科は、福島医大のこのころのケアチームを全国からの支援を受けて組織し、特に病院機能を失った相双地域に対して、近代的なアウトリーチ精神医療を導入して参りましたが、その先進性は世界的にも注目されております。一方、放射線医学県民健康管理センター臨床部門も兼務し、県民健康調査「心の健康度・生活習慣に関する調査」を行って参りました。

震災以後、福島医大は、全県民の健康を見守り、世界で最も健康な住民に導く使命を帯びました。一方、チェルノブイリ事故に対する2006年のWHO報告書では、精神健康こそが地域保健最大の問題であったと述べられています。従って、当科の使命は、皆さまに世界と歴史の評価に耐えうる精神医療を提供する事であると考えております。何卒、ご支援をよろしく申し上げます。

食事と放射線

医事課栄養管理係 栄養技師 椎根 尚子

東日本大震災から2年が経過しました。少しずつ復興に向けて進んでいるように感じますが、皆様はいかがでしょう。

現在、市場に出ている食品には様々な規制がされていますが、放射線による健康リスクに不安を感じている人は少なくないのではと思います。

放射線は細胞にダメージを与えますが、すぐに病気になること

がないのは、私たちの身体がこれを修復することができるためといわれています。このダメージを修復するのに有効な物は、ビタミンC・ビタミンE・カロテノイドなどと、葉酸を含むビタミンB群といわれています。(※)

ビタミンCは、生野菜・果物・いも類などに、ビタミンEは植物油(サラダ油・オリーブ油など)・種実類(アーモンドなど)などに、カロテノイドは緑黄色野菜などに、葉酸はほうれん草などの緑黄色野菜・豆類・レバーなどに多く含まれています。

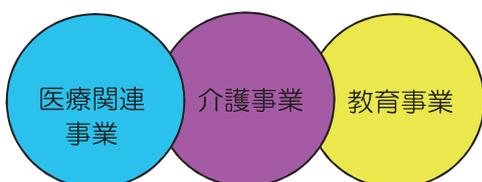
私たちが今できることとして大切なことは、放射線をむやみに心配することではなく、これらの食材を上手に取り入れながら、バランスのよい食事を心がけることではないでしょうか。

(※) 『いまからできる放射線対策ハンドブック』
女子栄養大学副学長・自治医科大学名誉教授 香川靖雄/自治医科大学RIセンター 菊地 透 著

第21号のなかみ

- 2ページ……○リンパ浮腫ケア外来のご紹介
○手術支援ロボット・ダビンチSiの手術が開始になりました。
- 3ページ……○花粉症について
○皮膚科外来改修工事について
○笑顔を届けます。ニチイ学館です。
- 4ページ……○リレー通信
○あなたの健康見守ります

全国展開するニチイの3つの事業



株式会社 ニチイ学館

福島市栄町6-6 UNIXビル3F
TEL 024-524-2835 Fax 024-522-0306

マチのほっとステーション
LAWSON

ローソン福島県立医科大学附属病院店(エレベーターホール隣)
ローソン福島県立医科大学店(7号館内)

当院では、リンパ浮腫ケアにおいて専門的な知識と技術を有するスペシャリストとして認定を受けた看護師3名が中心となり、週に2回リンパ浮腫外来が開設されています。これまで年間のべ約300名の患者さんにケアを提供して参りました。

日本においては、がん治療やその病状悪化がリンパ浮腫の原因の多くを占めていますが、その他の疾患や原因不明にて発症する場合があります。これらの患者さんの悩みは、身体的な症状のみならず精神面、社会面と多方面にわたり生活に大きな影響を与えています。また、リンパ浮腫に関する書籍やインターネットから膨大な情報が得られ、患者さん自身が個々に即した必要な情報を選択することが困難な場合があります。

リンパ浮腫は生涯治療を継続する疾患ですが、一方で早期の段階からの適切な治療と生活への配慮等により、増悪回避が可能な症状でもあり、患者さんご自身の継続的なセルフケアやその周囲の方々のサポートが不可欠になります。

リンパ浮腫の治療として複合的治療や手術療法等がありますが、リンパ浮腫外来においては、疾患や浮腫の病態生

理の知識、複合的治療（スキンケア、リンパ液誘導ドレナージ、圧迫療法、運動療法、生活指導や合併症予防や対処等）、社会制度についてのケアや指導を行っています。このプロセスにおいては、診療科の医師や看護師と連携し、患者さん個々の心身の状態に応じて安全に安心してケアが受けられるように取り組んでいます。

さらにリンパ浮腫外来では発症のリスクのある患者さんも対象にしています。正しい知識を持つことで無用な不安にとらわれず、発症兆候の早期発見ができ、また発症リスクを避ける生活が送れるようケアや指導を行っています。

患者さんご自身がリンパ浮腫とのつき合い方を知り、よりよい状態や環境をつくり、自分らしい生活が送れるよう、今後も患者さんのQOL(生活の質)の向上を目指してケアを提供して参りたいと思います。



手術支援ロボット・ダビンチSiの手術が開始になりました。

泌尿器科・副腎内分泌外科 羽賀 宣博

福島県立医科大学附属病院に、東日本では初めて医療支援用ロボット・ダビンチSiが搬入され、本年2月よりダビンチを使用した手術が当院でも行われています。現在のところ、このダビンチを使用した手術を行えるのが、前立腺がんに対する前立腺全摘除術のみとなっております。今までの開腹手術や腹腔鏡手術との大きな違いは、10倍の拡大視野で、なおかつ立体画像でみえるので、術野が良く見えること、そして、ロボットの手を使うことで、人では行うことができないような、さらに細かい手術操作も可能になったことです。前立腺は、骨盤深くにある臓器であり、泌尿器科領域の手術の中では、最も難しい手術のひとつに挙げられるかと思えます。さらに、その前立腺を摘出後、膀胱と尿道の吻合を、その深い骨盤で行わなければならないため、このダビンチは、まさに適役であるかと思えます。今

後は、前立腺がんにとどまらず、おそらく産婦人科領域や直腸の手術などの外科領域にも適応が拡大されていくものと思われます。

ダビンチを使用する手術といっても、私たち泌尿器科医とロボットだけでできる手術ではありません。手術を安全に確実に遂行する上では、当然のことながら麻酔科医、看護師、医療工学士の方々との協力が必要不可欠となります。当科のモットーである『和』が、患者さんの治療を行う上で、最も重要であるということは言うまでもありません。ロボットアームに患者さんの明るい未来と夢を乗せて、安全で確実な手術を心がけております。

ダビンチに関してのご質問やご希望などがございましたら、お気軽に泌尿器科外来にお越しください。



チームダビンチのメンバーです。
たくさんのスタッフで患者さんをサポートします。



実際の手術風景です。術者はコンソールに座って手術をしています。助手が患者さんの脇でサポートしており、安心です。



耳鼻咽喉科・頭頸部外科

部長 大森 孝一

花粉症の患者さんは年々増えており、全国民の20%程度ともいわれています。最大の原因は戦後スギ、ヒノキが北海道と沖縄を除く全国に植林されたことで、花粉生産能力の高い樹齢30年を超える頃から患者数が急増しています。福島県の今年の春の花粉総飛散量は、例年の1.5倍、飛散量が少なかった昨年と比較し約3倍となり、スギ花粉の飛散ピーク時期は4月上旬になる見込みです。いわき地区は全国的にみてスギ花粉の最も多い地域の一つです。また、最近話題のPM2.5の主役と考えられているディーゼル排出粒子は花粉症を悪化させるといわれています。

基本的な予防対策は、マスクやメガネをかける、寝具やカーペットの洗濯、洗濯物は屋内に干すなど、花粉を回避し部屋に

入れないことです。

症状は鼻水、鼻閉、くしゃみの三主徴です。治療は症状を抑えるための薬物療法、体質改善を図る特異的免疫療法、手術があり、最も一般的な方法は薬物療法です。症状や重症度、ライフスタイルを考慮しながら薬剤を選択します。中等症以上の方には抗ヒスタミン薬の内服と鼻噴霧用ステロイド薬の併用療法が行われます。抗ヒスタミン薬は眠気を催すと思われがちですが、最近はまだ眠くならない薬も開発されています。ステロイドと聞くと副作用が怖いと思われる方がおられますが、鼻噴霧用ステロイド薬は体内に吸収される量が少なく、副作用はほとんどありません。

重症の方にはレーザーを用いて鼻腔内の粘膜を焼灼したり、粘膜や骨を削ったり、鼻水の分泌に関係する神経を切断するなど、症状を改善する外科治療があります。日帰りや短期入院で行っていますので、専門外来（鼻副鼻腔外来：火曜日午後）を受診してご相談下さい。

皮膚科外来改修工事について 総務課施設係

病院施設の改修や維持管理を担当しています。平成25年度中に機能性の向上とプライバシーの確保を目的に、病院棟2階皮膚科外来の改修工事を実施する予定です。

改修前は診察室の分散による複雑な動線や患者さんとスタッフ用動線の混同などの理由により、使いやすさ等に課題がありました。そこで、空間を有効活用するために部屋の配置の見直しを行い、各用途の部屋を明確に分離する計画としました。

具体的には通路の両側に診察室・処置室・採血室を配置することで、患者さんにとって単純明快でわかりやすい動線としました。さらにスタッフへの配慮としては、診察室後方にスタッフ専用通路を設け、円滑な移動を可能にしました。部屋の仕切りはカーテンをスチールパーティションに改修し、ドアは全て引戸にしました。内装仕上げや照明・空調も更新し、居住性の向上を図っています。

本工事では工事中も診療を継続できるよう、工事エリアを6つに分割し、工事が終わったところから順次使用できるように計画しています。工事によって診療に支障が出ないように、騒音や振動の出る作業は土日集中して行うこととし、粉じん等が拡散しないように工事エリアを区画する仮間仕切り壁を設置します。また、工事作業員は東側の屋外バルコニーより出入りするようし、来院者や病院スタッフの安全にも配慮しています。

工事期間中は、皆様大変ご迷惑をお掛け致しますが、より安全で使いやすい施設となるよう努力して参りますので、今後ともご理解とご協力をお願い致します。



改修後のイメージ

笑顔をお届けます。ニチイ学館です。

私どもニチイ学館は、医療事務業務を行っています。

患者さんが来院され受付する総合受付、各科外来受付や、入院院窓口・各病棟クラーク・救急センター受付・料金会計窓口・お支払い窓口などがありますが、みなさんの前にあまり出ない部署もあります。たとえば手術や処



置などで使用する機材を扱う材料部、診療報酬請求業務や患者さんのカルテを管理している病歴室などさまざまです。

今回は、外来の受付を紹介します。

外来受付スタッフは、現在約60名。各外来診療科と検査部、放射線部、内視鏡診療部等の各部門受付を担当し、患者さんと直接関わる部署です。

患者さんが総合受付で受付されたあと各診療科で到着確認入力を行い、診察前の検査のご案内をしています。診察がスムーズに行えるように事前に予約状況の確認を行いながら医師や看護師・各部署と連携を取り合っています。診察終了後は、診療内容の確認や患者さんへの処方箋、次回予約、検査などの説明をし、会計へのご案内をしています。また、午後の時間帯は主に、電話での予約変更や検査同意書、診療情報提供書等の書類の処理、診断書・証明書の医師への作成依頼や交付作業もしています。

私たちは患者さんに安心して受診していただく為に、接遇研修会やスキルアップ勉強会などをスタッフ全員で実施し更なる患者サービス向上に努めています。しかし、まだ至らぬところもありますので、お困りのことや心配なことがありましたらお気軽にお声をかけてください。

今後も、サービスの5原則「表情・挨拶・姿勢（態度）・身だしなみ・言葉遣い」を心掛けながら患者さんの立場に立った対応をし、私達の笑顔で不安な気持ちを少しでも和らげる事が出来るように、スタッフ全員で努力していきますので、どうぞよろしくお願い致します。

リレー通信

反省しきりのボランティア活動

本田 信治



「自分でできる方にはやっていただく」のスタンスで車椅子を押しています。降車する患者さんを「見る」のではなく「注視」しています。運転者が車椅子をとり降車したなら、すかさず近づき「押しましょうか?」と声をかけ、体力がありそうな付添の方がいる場合には近づきません。また、バスで来院した患者さんが難儀そうに歩いているのを見れば「車椅子に乗りませんか?」と声をかけます。謙虚さからか、困っていても「援けてもらいたい」と口にしない患者さんがいますので声かけは大事です。「体を鍛えるためだから」と断られることも往々にしてありますが、患者さんが前向きに

努めることはとてもよいことだと思います。

職員は患者さんに対する「快適性の提供」を追求しなければなりません。一方、ボランティアは「困っている方を支えてさし上げる」ことを目指すべきと考えています。従いまして、困っている方々に対して過不足無く支えてさし上げることが目標です。なかには、スツツと軽快な歩調で歩いてきた方が玄関の車椅子に自ら乗り込み、さも当然といった顔で「お願いします」という患者さんがいます。複雑な思いで車椅子を押します。

「奉仕活動」の大儀を隠れ蓑に「傲慢」に陥っていること、無きにもあらずです。「青臭さ」からの卒業を目指すのですが、道のり遙かです。

あなたの健康見守ります

福島県では原子力災害による放射線の影響を踏まえ、県民のみなさんの健康を長期にわたり見守っていきます。その基本となるのが「県民健康管理調査」です。

「県民健康管理調査」の内容は、次の5項目です。

- | | | | | |
|--|------------|-----------|-------------------------|----------------|
| 1
基本調査
<small>(問診票による被ばく線量の把握)</small> | 2
甲状腺検査 | 3
健康診査 | 4
こころの健康度・生活習慣に関する調査 | 5
妊産婦に関する調査 |
|--|------------|-----------|-------------------------|----------------|

これらの調査は、「福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター」が中心になって、県内、県外の医療・保健・福祉関係者の協力を得て実施しています。今回は「甲状腺検査」についてお知らせいたしました。今回は、「甲状腺検査についてのQ&A」(その1)です。

Q 甲状腺検査の目的はなんですか?

A チェルノブイリ原発事故後に明らかになった健康被害として、放射線ヨウ素の内部被ばくによる小児甲状腺がんがありました。そこで、原発事故時0歳から18歳までの福島県民の皆様を対象に甲状腺の検査を実施しています。現在推計される被ばく線量はチェルノブイリに比較しても大幅に低く、さらに甲状腺がんの潜伏期を考え併せると、現時点で仮に甲状腺がんが発見されても、それは今回の被ばくの影響によるものではないと考えられます。県民健康管理調査では、この期間に対象の皆様甲状腺の状態を把握しておき(=先行調査)、そして、平成26年度以降の検査(=本格検査)の結果と比較することで放射線の影響がないか見守ってまいります。

Q 嚢胞、結節(しこり)とはなんですか?

A 「嚢胞」とは甲状腺にできた体液の貯まった袋状のものです。健康な方でも見つかることの多い良性のものです。嚢胞の中には、嚢胞の中に結節(しこり)を伴うものがあります。県民健康管理調査では、これを敢えて嚢胞とせず、結節(しこり)と判定しています。「結節(しこり)」とは甲状腺の一部にできる充実性の隆起です。超音波検査機器の精度が上がったことで、見つかることが多くなっています。

Q 今回の甲状腺検査では、「5.0mm以下の結節」が認められた子どもについても、原則として「二次検査不要」として平成26年度以降まで経過観察するとしていますが、こうした判断はどのように決めたのですか?

A 甲状腺超音波診断ガイドブック改訂版第2(南江堂2012年発行)に準じて対応しています。5.0mm以下の結節は嚢胞(体液の貯まった袋状のもの)と区別がつかないものが多く、超音波所見上良性と判断されています。嚢胞で20.1mmを越えるものは、そのものによる圧迫症状が出現する可能性があります。こうしたことを背景として、甲状腺がんの臨床特徴を理解している甲状腺学会その他専門医からなる外部の甲状腺専門委員会の検診を受けて決定しています。なお、A2判定の5.0mm以下の結節であっても、次回の甲状腺検査が平成26年度の本格調査時まででは間隔が空きすぎると判断した場合には、二次検査を要するB判定での通知をしております。こうした判定については、複数の専門医により行っているところです。こうした小さな結節や嚢胞については、超音波診断装置の進歩により探知できるようになったものであり、通常の診療でもその存在自体が異常あるいは、治療を要する所見とはされておられません。

福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター

電話：024-549-5130(土日祝日を除く 9:00~17:00)
メール：kenkan@fmu.ac.jp

甲状腺検査についてのQ&A

<http://fukushima-mimamori.jp/faq/thyroid.html>



すべてを地域のために
東邦銀行

ご利用・お問い合わせは **福島医大病院支店**

窓口営業時間：平日午前9時から午後3時

電話 024-548-5331 (受付時間:平日午前9時から午後5時)

スターバックスコーヒー福島県立医科大学附属病院店

営業時間 平日 7時~20時
土日祝 9時~19時

アメリカ シアトル生まれのスペシャルティコーヒーストア。高品質のアラビカ種コーヒー豆から抽出したエスプレッソがベースのバラエティ豊かなエスプレッソドリンクやペストリー、サンドイッチをお楽しみいただけます。

